

商工観光部の方針書

部名	商工観光部
部長名	佐々木公仁

1. 部の使命(ありたい姿)

地域経済が活性化しているとともに、おもてなしの心が地域に根差している	
担当政策	政策4:魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
担当施策	4-2:活気ある商業の振興 4-3:活力ある工業の振興 4-4:観光・物産資源の発掘と発信 4-5:企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での地域経済停滞の克服</li> <li>・人口減少と地域経済縮小への対応</li> <li>・労働生産性向上と付加価値増大</li> <li>・多様な働く場創出と人材確保</li> <li>・横手の魅力発信と観光振興</li> <li>・市有温泉施設の運営</li> </ul>
--

3. 今年度の『スローガン』

つなげ！ ひと・ちいき・しごと (Get)
--------------------------

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者の事業継続と成長を支援する</li> <li>・労働力維持確保のための取り組みを推進する</li> <li>・産業と働く場の多様性を作り出す</li> <li>・観光素材を更に磨き上げ、横手の魅力を発信する</li> <li>・優れた横手産品の販路拡大を支援する</li> <li>・市有温泉施設運営の方針を示す</li> </ul>
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市内事業者の成長支援により地域経済が活性化されている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市商工業振興計画の進捗管理を着実にを行い、計画を推進します。</li> <li>・市内事業所の生産性向上を支援するとともに、コロナ禍での雇用安定を図ります。</li> <li>・若年者地元定着のため、事業所の魅力発信を支援し雇用のマッチングを促進します。</li> <li>・関係機関と連携した事業者支援と合わせ、新たな企業の誘致活動を進めます。</li> </ul>
(2)	実現したい成果	優れた観光素材と横手産品のブラッシュアップが成されている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次横手市観光振興計画の進捗管理を着実にを行い、計画を推進します。</li> <li>・観光関連団体や民間企業と連携した東北DC推進や、地域資源活用に継続して取り組みます。</li> <li>・横手市観光推進機構や関係団体との連携を図り、市内の観光素材の更なる磨き上げを行います。</li> <li>・各種取組を通じて横手の魅力を効果的に発信することにより、より多くの横手ファンを獲得します。</li> </ul>
(3)	実現したい成果	市有温泉施設運営の今後について方向づけられている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先の温泉施設譲渡への取り組みの検証を踏まえ、広く意見を求め、協議を進めます。</li> </ul>

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)市内事業者の事業継続と成長支援への取り組み
  - 1.市内事業所の生産性向上を支援するとともに、コロナ禍での雇用安定を図った
    - ・生産性向上の支援のため中小企業設備導入支援事業を実施した
    - ・コロナ禍での事業者支援として経営持続化支援事業補助金事業、緊急雇用安定事業補助金事業を実施した
  - 2.事業所の魅力を発信し、雇用のマッチングを図った
    - ・市内高校へ市報「地元のキラリ企業」縮刷版配付したほか、よこてハローワークと連携し企業PRを県南11校へ実施した
  - 3.新たな企業の誘致活動に努めた
    - ・ターゲット企業が当市で操業するために必要な情報の収集及び提供を図り、今後に繋げる活動を実施した
- (2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップ
  - 1地域資源を活用した回遊滞在型観光の推進と事業者支援を行った
    - ・観光施設等スタンプラリー事業、タクシー利用者助成事業を実施した
    - ・コロナ禍での事業者支援として横手宿泊キャンペーン事業を実施した
  - 2.観光素材の磨き上げに取り組んだ
    - ・増田オンラインツアー(台湾向け)と台湾を感じるフェアin横手を実施した
  - 3.継続した販売促進活動による販路拡大への取り組みと事業者支援を行った
    - ・首都圏外食企業とのリモート商談会、YouTubeライブ配信による「横手市オンライン物産展」を開催した
    - ・コンビニ9店舗でアウトレット農産品(規格外の野菜等)を販売する機会と商流モデルを創出した
    - ・横手の魅力好循環推進事業を実施した
- (3)市有温泉施設の、今後の方向付けに向け取り組んだ
  - 1.返還施設の適正な維持管理と、検討、判断に必要な建物調査を開始

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)市内事業者の事業継続と成長支援への取り組み
  - (1-1)課題：長期化するコロナ禍が地域経済に大きく影響する中での市内事業者の事業継続  
方針：商工業振興計画の確実な推進により、影響が大きい業種への集中支援策を含めた経済対策を検討実施する
  - (1-2)課題：空き店舗解消と賑わい創出を図るための誘導的な事業構築  
方針：事業誘導につながる支援策検討とともに、現行補助事業も広くPRしながら有効活用を推進する
  - (1-3)課題：ウイズコロナでの新しい働き方の提案  
方針：Bizサポートよこての移転整備を進めながら、利用者確保のためのソフト事業を準備する
  - (1-4)課題：誘致活動の更なる拡大  
方針：コロナ禍の状況を注視しつつ、Web会議の有効活用と併せ直接訪問を積極的に実施する
- (2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップ
  - (2-1)課題：コロナ禍の状況を見定め、規制緩和に合わせた事業、イベントの安全実施  
方針：雪まつり、出前かまくら等の実施方法、PR方法について関係団体と早期に決定し、準備を進める
  - (2-2)課題：ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた観光誘客環境整備  
方針：第3次観光振興計画に基づき、観光庁補助金等も活用して環境整備を進める
  - (2-3)課題：消費者等に対する横手の魅力の効果的な発信  
方針：首都圏や仙台圏での小売店舗においてフェアを開催し魅力の発信に取り組む
  - (2-4)課題：横手ファンの獲得と、関係性の維持・強化  
方針：「横手応援拠店」の仕組みを確立するとともに、首都圏・仙台圏で各1～2店舗の展開を図る
- (3)市有温泉施設の方向付け
  - (3-1)課題：アフターコロナを見据えた市有温泉施設の再民間譲渡等の実施  
方針：市有温泉施設それぞれの在り方について、広い視点で協議を進め、説明を行い検討判断する

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1)市内事業者の事業継続と成長支援への取り組み
  - (結果・成果) ・コロナ禍の事業者支援(持続化補助金など)により市内事業者の事業継続に支援できた
  - ・新規企業 3社を誘致し、新たな働く場(予定雇用数 240人)を創出できた
  - (課題) ・コロナ禍で落ち込んだ地域消費喚起
  - ・新Bizサポートよこて事業を更に推進するためのソフト事業充実
  - ・新たな工業用地の早期確保
- (2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップ
  - (結果・成果) ・観光キャンペーン実施により、県内誘客での一定の人流取り込みができた
  - ・オンラインでの商談や営業活動により、市内事業者のマッチングを支援し新たな取引につなげた
  - (課題) ・第3次観光振興計画のローリングから内容の具現化(事業化)
  - ・既存販路の維持と取引量の拡大、横手産品の現状に適した販路拡大支援の推進
- (3)市有温泉施設の方向付け
  - (結果・成果) ・市民アンケートの実施 →回答数(2022/03/18現在) 2,797件/6,000件、回収率46.7%
  - (課題) ・アンケート結果を加味した方針(案)策定
- (4)上記以外
  - (課題) ・若年者地元定着と市内企業での雇用確保
  - ・コロナ禍での観光イベントのありかた